

# 次期の見通し

## ■企業のデジタル化がさらに前進

国内では景気に持ち直しの動きもみられますが、足下では新型コロナの感染拡大に対して緊急事態宣言が再発令され、一部の企業の経済活動が停滞をきたす等、景気の先行きに慎重な姿勢も見られます。

このような経済状況のもとで、依然として移動の自粛に伴うテレワーク等のニーズは高く、また今年度はデジタル庁の設置が計画され、各種優遇税制・補助金・助成金の後押しもあり、業務の効率化や競争力の強化を目的とした企業のデジタル化がさらに前進することが期待されます。

## ■DXとドキュメントソリューション

以上のような経済状況や国内のIT投資動向に対する見通しを前提として、当社グループではコロナ禍でもお客様との接点を増加させるため、引き続きお客様への訪問を伴わない営業活動やサポート活動を可能とする体制の強化を図り、ITを活用したオンラインによるデモンストレーション・セミナー等に力を入れ、訪問に制約がある中、具体的で分かりやすい説明を行い需要の喚起に努めてまいります。また自らAI等の技術を活用して中小規模のお客様の事業継続や市場競争力の強化に繋がるようDX(デジタルトランスフォーメーション)の基礎づくりをサポートし、デジタル化やIT活用が進むように支援をしております。

具体的には、引き続き営業活動やサポート活動を支援する各センターやお客様マイページ<sup>※</sup>の充実に力を入れ、特に今年度はドキュメントの電子化や契約の電子化の需要を掘り起こし、関連機器・ソフトウェア・ネットワーク・セキュリティ等の機能を組み合わせた提案で、お客様のドキュメントのライフサイクルを通して安全で効率的な環境の導入を支援してまいります。

### 2021年の市場環境

- 新型コロナ感染拡大により先行きは不透明
- 行政や民間におけるデジタル化推進の動き
- テレワークの定着と新しい働き方への対応
- AI、IoT、5Gなど市場拡大
- 企業のIT活用ニーズは底堅い

### 2021年の方針と施策

- 『DXとドキュメントソリューションで  
お客様に寄り添い、お客様と共に成長する』
- お客様満足度の向上で「オフィスまるごと」
  - DXの更なる推進
  - 当社の経験やノウハウをもとに、具体的なドキュメントソリューションを展開
  - 大戦略IIの取り組みを継続

※お客様マイページ=多くのお客様に便利なサービスをご提供することでお客様に寄り添い、Webでお客様との関係創りを進めるお客様ポータルサイトのこと。

## ■セグメント別の施策

システムインテグレーション事業では、安全で効率的な営業活動を行いつつ、ドキュメントのデジタル化などコロナ禍での対応や生産性向上・コスト削減のニーズの掘り起こしを図ってまいります。また、お客様の業務のデジタル化を進めるため、お客様に寄り添い、継続的な提案を行ってまいります。

サービス&サポート事業では、前年に引き続きテレワークの利用拡大による影響を受け複写機の保守サービスに影響が出ると予想されますが、システムの保守サービスやサポート、2020年第4四半期に売上高が回復した「たのめーる」を伸ばすことでカバーします。「たのめーる」では競争力の強化に努め市場の拡大を図り、「たよれーる」では、コロナ禍でもお客様が安心して安全に事業活動を継続するためのサービス、お客様のIT人材不足を補完できるようなサービスの開発に努めてまいります。

## ■次期の業績見通し

次期の連結業績予想は以下の通りです。

売上高8,650億円(前年同期比3.4%増)、営業利益581億円(前年同期比3.2%増)、経常利益590億円(前年同期比2.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益395億50百万円(前年同期比0.6%増)。

セグメント別の売上高では、システムインテグレーション事業5,406億円(前年同期比2.7%増)、サービス&サポート事業3,244億円(前年同期比4.7%増)。

売上高・利益計画

(単位：百万円)

	2020年 12月期	2021年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
売上高	836,323	865,000	+3.4%
営業利益	56,309	58,100	+3.2%
経常利益	57,550	59,000	+2.5%
純利益*	39,309	39,550	+0.6%

※親会社株主に帰属する当期純利益

セグメント別売上高計画

(単位：百万円)

	2020年 12月期	2021年12月期 (計画)	
	金額	金額	増減率
システムインテグレーション事業	526,613	540,600	+2.7%
サービス&サポート事業	309,710	324,400	+4.7%